

# 北海道

# 碎石だより

NO 125

平成24年 6月30日

(社)日本碎石協会北海道地方本部

## 源田茂男氏エネ庁長官表彰を受賞



去る5月30日に(社)日本碎石協会通常総会の席上で平成24年度資源エネルギー庁長官表彰の授与式が行われました。

優良採石功労者として奈江採石協同組合専務理事源田茂男氏が栄えある賞を授与されました。氏は災害防止・労働安全衛生への取り組み、(社)日本碎石協会の安全登録講師として活躍され、採石跡地緑化については順次取り組みを、全国碎石技術大会において3回発表されている。また、富良野市民講座等での、碎石の用途、跡地緑化状況など勉強会を開催するなど、地域社会貢献されたことが評価され今回の受賞となりました。

第一種 業界功労表彰者

道内初 第一号

おめでとうございます



## 岡本繁美氏会長表彰を受賞

同日引き続き、(社)日本碎石協会会長表彰式が行われました。役員20年以上勤めた人を対象に与えられる、第一種業界功労表彰者として、当地方本部長、岡本繁美氏(岡本興業㈱代表取締役)が授与されました。北海道地方本部からの役員として、第一種業界功労表彰者(役員歴20年以上)は初めて!!

氏は北海道地方本部の理事に昭和63年に就任、平成4年から(社)日本碎石協会理事に就任、平成13年から常任理事、平成21年には副会長に就任され、現在に至っております。長年にわたりご尽力いただき心から敬意を表します。



# 平成二十四年度

## 社団法人日本砕石協会

### 通常総会終了（東京都）

五月三十日、(社)日本砕石協会通常総会が全国各地から二一〇名参加のもと開催されました。



砕石問題、電気料金値上げ問題、依然続く不況による業界の衰退、協会

北海道地方本部からは、岡本部長、辻副本部長、奈江採石協同組合旭川支部)源田専務理事が出席しました。通常総会は井上会長の開催挨拶で始まり、昨年の東日本大震災で被災された方々にお見舞いと、お亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、「昨年就任後、震災による復興の問題、電力の供給不足問題、福島原発事故による高濃度放射線物質を含んだ



会員の脱会など多くの問題、課題があり、今後とも解決に努める所存である。この厳しい中

にも、「労災保険率の低減」「軽油引取税課税免除措置の三年間延期」は明るいニュースで会員の努力が評価された結果であると考え。特に協会としては労働災害の撲滅を訴え「ベルトコンベヤの災害防止対策」や「重機災害防止マニュアル」作成など、労働安全に取り組んできたことも低減の要因の一つと考え、本年は「採石事業におけるリスクアセスメントの導入指針」を発刊し、この指針の活用により更に災害防止に努め、より一層労災保険率が軽減されるよう努めていきたい。軽油引取税課税免除措置三年間延長は、本部はもとより各支部においても要望活動を行って頂き、組織力を発揮した幅広い要望活動を行ったことが成果につながったと考えているため、本年度も引き続き、協会活動等にご理解ご協力をお願いしたい。」と挨拶されました。

議事は、提案どおり承認され、一般社団法人への移行認可申請は九月頃の予定である。

### 平成二十四年度表彰式挙行

本部通常総会に引続き、資源エネルギー庁長官表彰、並びに、(社)日本砕石協会表彰が行われた。

◇資源エネルギー庁長官表彰

○優良採石個人表彰

源田茂男氏（奈江採石協同組合 専務理事）



◇(社)日本砕石協会業界功労表彰  
○第一種表彰  
岡本繁美氏（北海道地方本部長）

(岡本興業(株)代表取締役)



## 全国国有林採石協会

### 通常総会終了

六月八日、全国国有林採石協会通常総会がホテルメトロポリタンエドモント（東京都千代田区）で全国の各地区協会代議員が出席し開催されました。



北海道地区からは、辻会長、岡本副会長、原田理事の三名が出席しました。

塚田会長御挨拶



### 御来賓

林野庁  
田之島企画官  
大貫企画官  
川端業務課長  
関東森林局  
木下東京所長  
松本企画官





議事は提案どおり承認され、林野庁に対する陳情・要望では、各地区協会の抱える問題が出され、北海道からは、

一、国有林野内で生産された砕石等製品を国有林野内での積極的利用。  
二、長時間要する保安林解除業務の問題点等を四点ほどあげ、改善の要望をお願いし総会は終了しました。

### ㈱日本砕石協会北海道地方本部 通常総会開催される(札幌)

平成二十四年度、社団法人日本砕石協会北海道地方本部通常総会が、五月二十三日に、会員、賛助会員、ご来賓のご出席のもと盛会に開催されました。当日は砕石協会の井上会長もお忙しい中、福岡からお越しいただきました。



岡本部長は、総会開催にあたり「平成二十三年度を振り返り、東日本大震災、福島原発事故により地元の方々の生活は今も大変なことに

なっている」と聞いている。いまだ道筋が見えない中、円高デフレなどにより、経済環境の悪化が続き、更に税と社会保障の一体改革として消費税の見直し



が論議され、この消費税の値上げにより将来の不安と経済の落ち込みが大きな問題となっていると思う。北海道の砕石業界の現状は、公共事業の予算削減により伸び悩みになっており、民間事業も乏しく、路盤材においては再生リサイクル骨材の優先使用が定着され、鉄鋼スラグの新たな流通などから、生産・販売が年々落ち込んでいる。更に石油と石油製品の値上げにより、砕石業の取り巻く環境は厳しく、問題が山積みとなっている。昨年は砂利協会と陳情を行い、軽油引取税課税免除措置三年間延長が認められた。会員みなさんの努力により労働保険料率が 70/1000 から 58/1000 に引き下げられ、協会として大きな成果が得られた。本年度も皆様方の協力によりゼロ災を

続けていきたいと思っている。㈱日本砕石協会では井上会長の声掛けにより、リスクアセスメントを行うことになった。各会員各社においてもリスクアセスメントを取り入れ、安全管理の徹底をしてもらいたい。」と話されました。

### 北海道国有林採石協会 通常総会開催される

平成二十三年度、北海道国有林採石協会通常総会が、五月二十三日に会員、ご来賓の出席のもと盛会に開催しました。



は総会開催にあたり、「近年私たちの採石業を取りまく経営環境は公共予算の削減や民間需要の停滞、さらには再生骨材の優先使用や鉄鋼スラグの流通など非常に厳しい状況の中での経営である。明るい話題の乏

しい一年であったが、軽油引取税課税免除措置が三年間延長になったこと、さらに、労働災害保険料率が 12 ポイント引き下げになったことは朗報であった。



このことは北海道国有林採石協会が、㈱日本砕石協会北海道地方本部と連携し取り組んできた成果であると考えている。

私たちは、国有林を事業現場としており、自然環境に配慮した掘削や採石跡地の整備、緑化に努め、業界のイメージアップを図るための事業実行が求められている。また、事業を実行していくためには、労働安全の確保が何よりも重要である。これまで重大災害の発生もなくゼロ災害を継続してきているが、今後も各社一丸となって安全対策を確立し、災害のない職場作りに努めていただきたい。」と話されました。

この後、議長には岡本副会長を指名し、議案審議の結果、提案されたすべての議案が承認され、総会は終了いたしました。

ご来賓には、北海道森林管理局販売第一課清水課長が出席されました。

## 北海道碎石協同組合連合会 通常総会開催される

平成二十四年度、北海道碎石協同組合連合会通常総会が、五月二十三日に全組合、ご来賓の出席のもと開催しました。

岡本会長は総会開催にあたり北海道の経済状況は公共事業の削減で大変厳しい経済環境である。碎石の生産量、出荷量はピーク時の平成8年に比べると生産量、出荷量とも40%まで減少している。特にリサイクル法による再生骨材の優先使用や鉄鋼スラッグの流通もあり新材の販売が伸び悩んでいる。

価格面においても地域差はあるが、全体では依然として価格を思うようにあげることが出来ていない。碎石業界の取り巻く環境は厳しく問題も山積みであることから、連合会は道本部と一体となって関係官庁に対し陳情活動を行ってきた。

今年度は東日本大震災復興事業が本格的にはじまる。地元骨材では不足することがあり北海道の骨材使用も検討しているという話もあるが、流通問題を連合会として行うことが出来ればと思っている。連合会は道本部、砂利協会との連携をはかりながら良い組織づくりをしていきたいと考えている。各会員の皆さんのご理解ご協力をお願いした

い。」と話されました。

このあと、議長には旭川地方採石共販協同組合橋井理事長を指名し、議案審議の結果、提案されたすべての議案が承認され、終了致しました。ご来賓には、北海道中小企業団体中央会 連携支援部 副部長 田中啓之様のご出席をいただきました。

## ◇硬石山区碎石業者連絡協議会 植樹祭開催される

六月二日(土)、硬石山区碎石業者連絡協議会(原田俊之会長)が主催する植樹祭がハラダ産業㈱の採掘跡地で行われました。

当日は、朝からお天気も良く、植樹祭を行うには絶好の日和でした。当日は石狩森林管理署山本署長、地元町内会、硬石山で採石業をしているハラダ産業㈱、昭和採石工業㈱、北海道国有林採石協会職員らが多数参加し植樹をおこないました。

この植樹祭は、採石跡地の緑化を地元町内会の方々と行うことで、採石事業について理解を深めて頂き、また、親睦を図ることを目的として続けてきている行事であります。



(鹿食害対策にネットをかぶせました)



これからも植樹祭が長く続くことを期待しております。



平成 24 年度  
安全スローガン

## リスクアセスメントに 取り組もう!

「編集後記」  
今回は平成24年度通常総会の記事をとめました。各会員または各支部からの、ご意見・ご要望、地域の情報などありましたら、是非お寄せ下さい。お待ちしております。  
(編集事務局一同)

平成24年度安全標語(社)日本碎石協同組合  
※佳作入選おめでとうございます!!  
安全に 掛ける手間惜しまずに  
リスクを減らし ゼロ災職場  
札幌支部 岡本興業㈱ 佐藤賢治様

## ◇平成 24 年度 採石業務管理者試験準備講習会開催

1. 受講資格はありません (業管試験日 H24. 10. 12 予定)
2. 講師 採石法令 (社)日本碎石協会専任講師 杉野 亘氏  
碎石技術 " 源田茂男氏
3. 講習科目と時間  
第1日 法令 9:15~12:15 技術 13:15~17:15  
第2日 技術 9:00~16:00 <随時休憩あり>
4. 開催日程  
年月日 平成24年8月23日(木)~24日(金)  
会場 かでる2・7 札幌市中央区北2西7
5. 申込締切 平成24年8月6日(月) 定員30名
6. 受講料 会員(テキスト込)13,250円 ○別途幹旋書籍あり  
お問い合わせは (社)日本碎石協会北海道地方本部: 担当鈴木  
☎(011) 241-4579 又はホームページをご覧ください  
URL: <http://homepage3.nifty.com/hokkaitihon/>

## ◇一般粉じん関係公害防止管理者資格認定講習会のご案内

1. 会場催日時 平成24年9月28日(金)~29日(土)
2. 会場かでる2.7 定員50名
3. 受講料及びテキスト代  
受講料25,000円 テキスト代10,500円 計35,500円  
受講資格等詳しくは(社)日本碎石協会: 担当深松  
本部☎03(5453)8830 または上記ホームページを。